

2023年新春旗びらき

1月5日(木) 18:00  
ルビノ京都堀川

23春闘スタート宣伝

1月6日(金) 8:00  
四条烏丸

# 京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第274号

発行所  
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階  
京都地方労働組合総評議会（京都総評）  
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149  
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/  
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

# 今こそ大幅賃上げ！ 仲間を増やして、生活をまもろう！

12月3日、登録会館で23京都国民春闘共闘会議発足総会を兼ねた23京都国民春闘討論集会を開催しました。

午前は、23京都国民春闘共闘会議の発足総会と国民春闘共闘の黒澤事務局長の講演。午後は、23京都国民春闘方針案を提案し、全体討論を行いました。

1月28日の臨時大会に向けて、各組織で春闘方針案の討議をすすめていきましょう。

## 総力戦でたたかう

### 23春闘

あいさつに立った梶川議長は、「弱肉強食と自己責任の新自由主義が、いのちも暮らしもギリギリの社会をつくってしまっている。しかし、働く者の実態を改善と敵基地攻撃・大軍拡、増税やインボイスしか見えない岸田政権は見ようともしない。岸田政権の支持率急落は当たり前で、もはや「打倒」の対象。生活危機を打開する大共同を」と呼びかけました。

23春闘に向けて、「賃上げをすべての労働者が手にするために、23国民

## 大幅賃上げで、物価高騰から暮らしをまもろう

春闘方針案では、23春闘は「四半世紀に及ぶ実質賃金の低下、物価高騰、コロナ禍の長期化、ロシアによるウクライナ侵略などで労働者の生活はかつてな



23春闘勝利へガンバろう！



対話もまじえた講演



▲あいさつする梶川議長



熱心にメモを取る参加者

春闘は総力戦。コロナ禍で賃金も人員も必要となった公務・ケア労働が突破口を拓く。払った税金が公務・ケア労働者のために還元することを府民的に求めたい」と強調し、「秋のたたかいで仲間を増やした組合、新たに労組を結成した経験がつけられている。新しい仲間ができれば、その向こう側に違う風景が見えてくる、そんな攻勢的に春闘をたたかうための討議をすすめて」と呼びかけました。

をはかることが不可欠」と強調しています。「賃上げ」の世論が広がり、労働組合が求められています。堂々と賃上げ要求を掲げ、攻勢的に春闘をたたかい、大幅賃上げの先頭に労働組合が立つことが求められます。

○3月の賃上げ集中回答日・統一行動日への運動、○7月の最賃改定への運動、○8月以降の人の運動、を賃上げ闘争の柱にし、公務と民間、単産と地域の共同した取り組みをすすめて、未組織の仲間を組合に迎えながらたたかう春闘にしてい

くこと、「労働実態の見える化」「要求と運動の見える化・見せる化」にこだわり、仲間を増やし、みんなで一緒に要求を実現する春闘を創りましょう。

春闘方針案の提案を受けた討論では、「年末一時金は19組合が昨年水準を維持、13組合が昨年水準を上回った(医労連)」「年末闘争で社員と構内

を維持、13組合が昨年水準を上回った(医労連)」「年末闘争で社員と構内

討論集会で、国民春闘共闘・全労連の黒澤事務局長の講演で学習しました。

黒澤さんは、最近のアメリカの労働運動から「下から上へ動く運動に徹すること」「運動で成果をあげて組織化ではなく、組織化を先行して行う方向へ転換して組織化がひろがっていること」などの教訓を生かして運動をつくろうと呼びかけました。

「価値観を共有できる人は誰？」「決定賢者は誰？」「わかったと言わせられる力は？」「どうやってやるか、役割分担や期日はどうするか」などみんなで議論することが大切だと強調し、「実現できると思えたとき『やろう』となれる、と強調しました。

## 仲間を増やして春闘に勝利しよう

国民春闘共闘・全労連 黒澤 幸一事務局長

講演



「組合の要求書を見ながら、第二組合から16人が加入(医労連)」「秋の月間で689人拡大(京建労)」「10月に新たな分会結成(福祉保育労)」「要求実現の取り組みを通じて舞鶴で6人、宇治で4人拡大(自治労連)など仲間を増やした経験が生まれ、仲間を増やしながなたたかう春闘にしてい」ことの大

わかりやすく話す黒澤事務局長

スタッフの一時金算定を同一基準にさせた(京都放送労組)」「府内3自治体で会計年度任用職員

「組合の要求書を見ながら、第二組合から16人が加入(医労連)」「秋の月間で689人拡大(京建労)」「10月に新たな分会結成(福祉保育労)」「要求実現の取り組みを通じて舞鶴で6人、宇治で4人拡大(自治労連)など仲間を増やした経験が生まれ、仲間を増やしながなたたかう春闘にしてい」ことの大

「組合の要求書を見ながら、第二組合から16人が加入(医労連)」「秋の月間で689人拡大(京建労)」「10月に新たな分会結成(福祉保育労)」「要求実現の取り組みを通じて舞鶴で6人、宇治で4人拡大(自治労連)など仲間を増やした経験が生まれ、仲間を増やしながなたたかう春闘にしてい」ことの大

## 23 京都国民春闘討論集會

## TUBUYAKI

「教えるを再び戦場に送るな」全日本教職員組合の反戦の誓い、「再び白衣を戦場の血で汚さない」日本医

労働の平和運動のスローガン、「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」日本国憲法の戦争放棄の宣言である▼ロシアがウクライナへ軍事侵襲して10ヵ月が経過したが戦争終結の兆しはない。侵攻を止められなかったことで欧米諸国の国防政策が一変し軍拡に傾きつつあり▼安倍・菅政権の後を引き継いだ岸田政権、広島出身の首相であり平和・安全保障政策には期待したが、ウクライナ戦争や台湾情勢に乗じて敵基地攻撃能力の保有、防衛予算2倍化など日本が戦争に巻き込まれかねない危険な道を選択▼戦争は国民の生活や権利、生命までも奪う。ウクライナ戦争も力と力の対立となり子どもを含む国民を巻き込み多くの犠牲者を出している。戦争はいかなる場合も回避しなければならぬ。平和憲法を守り・活かす運動と国の外交力こそが重要だ。(M.O)

# 危険な土地規制法 廃止させる声をあげよう

## 米軍基地いらんちゃ フェスタin丹後2022

12月11日に、いらんちゃフェスタ2022が開催され、2600人が参加し、60地点でYouTube視聴されました。集会では、「土地規正法の何が問題か」と題して馬奈木弁護士が講演。土地規正法を廃止させるために声をあげようと呼びかけました。土地規制法の問題点など講演内容を紹介します。

### 知れば知るほど ひどい土地規制法

講演した馬奈木弁護士は、9月に全面施行された土地規正法について、「米軍や自衛隊基地、海上保安庁の施設、原発、国境離島などを『重要施設』と指定し、その周辺が『注視区域』とされ、調査対象となる『重要施設』の機能阻害行為の有無を調査するとされるが、結局は所有者や利用者の行動が調査されることになる。その対象は家族、友人、知人のごとまで広がるかわからない危険なもの」と解説。「重要施設の機能を守る」というが、

### 主権者として無関心は許されない

またこの法律は、「時代の政治的表現の自由の行使が、『機能阻害』と認定されるおそれは拭えない」と法律の危険性を強調しました。

馬奈木弁護士は、「憲法そのものの改悪は許さないけれど、法律が改定されたり制度が変更されたりなど『日常生活の中の憲法改悪』が続いているのが現在の状況ではないかと指摘し、「主権者らしさが問われている。主権者として無関心は許されない。自分の問題として考えていくことが必要」「運動の視野をひろげて、この法律を廃止させる声をあげていこう」と呼びかけました。

### 団交支援の 社前行動

全印総連中西印刷分会では、昨年水準を下回る人がでる一時金回答に対して、「少なくとも昨年水準を上回る一時金を何としても勝ち取りたい」と団交支援の社前集会を実施。総評をはじめ各単産と北上地区労が支援に駆け付けました。



## 現役も高齢者・退職者も がんばってます

### 京都高齢者退職者 協議会(高退協)

合の退職者会(OB会)で組織する高退協では、毎月第一金曜日に「高齢者怒りの行動」として街頭宣伝を続けています。寒さが厳しくなってきた12月2日に今年最後の行動を実施。横断幕のぼりをかかげて、「憲法改悪許すな」「軍拡より暮らし応援を」「物価高騰なのに年金引下げは許さない」とアピール。憲法改悪反対の街頭署名にも取り組み、足を止めて署名してくれる方もありました。

金の支給を」とシユプレヒコールで訴えました。団交では昨年を上回る回答が出され、妥結しました。

### 寒さに負けず、 高齢者怒りの行 動で市民に訴え

京都総評傘下の労働組

### 労働委員会を 活用しよう

「労働委員会活用の手引き」学習会を11月22日に行いました。

元労働委員の吉岡副議長が手引きをテキストに、労働委員会の仕組みや活用方法と留意点などについて説明し、「不当労働行為の救済、労使紛争解決のために労働委員会を積極的に使おう」と呼びかけました。現在労働委員をして松本さん(医労連)からは、自分

### 各地でつづく 食料支援の 取り組み

### 長岡京市の 後援、社協の 協力を得て

年末を控え、食材提供プロジェクト・何でも相談会が、府内各地で開催

乙訓地域では、11月16日に長岡京市のバンビオで開催されました。この間の取り組みを通じて行政機関にも働きかけてきたことから、長岡京市の後援・社会福祉協議会の協力のもと、行われました。社協の職員さんもスタッフとして参加されています。

当日は開始時間前にもかかわらず、多くの方が集まられていました。野菜やお米、レトルト食品等々の準備された物品を、整然と手にしながら、「物価高の折、助かっている」「次は、いつありますか」等口々に感謝の言葉が。利用されたほとんどの方がアンケートにも協力いただき、中には長い時間をかけて相談される方もありました。行政機関と一体となり、地域に根付いた取り組みを広げましょう。(京都社保協・南)

## 宮津地労協の 活動と課題

### 宮津地労協



地域総行動で街頭宣伝

宮津地労協は、宮津市、与謝野町、伊根町の労働組合が加盟して活動しています。年間を通じて多くの取り組みをしています。本日の活動は、役員会の開催、各種集会・学習会への参加、宣伝行動、機関紙『宮津地労協だより』の発行などですが、そのほかに、原発問題、大型風力問題など課題を抱えています。加盟労働者の組合員の減少と会費収入の減少により組織と財政基盤の脆弱化が進んでいます。地労協役員の派遣する労働組合

の固定化と高齢化が進んでおり、役員の後継者確保、世代交代、人材育成が大きな課題になっています。役員が多くの役割を持っており、独自の活動にあまり取り組めていません。宣伝行動などの参加者も少ないのが現状です。また、組織強化を図りたいと考えていますが、日常的に接触、交流できていない労組も多く、未組織労働者の組織化、労働相談の体制も確立できていません。組織と活動の強化、財政基盤の確立、役員体制の強化などを一体的なものとして取り組むことが必要だと考え、組織のあり方を模索しております。

### 地区労協の活動 地域に 労働組合の姿を

月下美人	+	京都医労連
		松本 紀子

葉っぱ一枚もらった植えただけの月下美人。20年開き続けてくれています。今年はずせが一緒に

### 撮っておき ワタシの撮



花が咲きました。翌朝は寂しいすがた。順番に咲いてくれたらうれしんだけね。

### あなたの撮っておき 写真募集中!

【応募方法】①画像1枚、②タイトル、③コメント100〜200字程度、④お名前(掲載はペンネーム可)、⑤所属、⑥プレゼントの送り先を書いて、京都総評までメールでお送りください。掲載された方には図書カード(1000円分)を贈呈します。